

Peugeot 0106/0206 取り付け説明書

装着前に必ずお読み下さい。

- 1、本書に使用している写真は206用ですが106/306/Saxoも同様です。
- 2、オーディオリモコン装着車はその機能が使用出来なくなります、本体側で操作して下さい。
- 3、運転席エアバック（以下：SRS）を取り外しますと助手席、サイドSRSの衝突時の作動は推測出来ません。
- 4、SRS装着車には任意保険加入時に割引料金が自動的に適用されている場合があります。ステアリング交換時には必ず保険会社に確認して下さい。
- 5、当製品は2ピース構造になっております、上部と下部はボルトで固定されています。工場出荷時に規定のトルクで締め付けてあります、絶対に緩めないで下さい。
- 6、稀に車両の電气的特性により、SRS警告灯が消灯できない場合があります。ご了承下さい。
- 7、純正部品の取り外しに関しては自動車メーカーの整備解説書に従っていただくのが普通ですので本書はあくまでも参考としてください。

取り付けに必要な工具

トルクスソケットレンチ T50 ビニールテープ

装着手順

1、作業開始準備



装着前に**タイヤとステアリングホイール**を直進状態にして下さい。

2、バッテリー端子の取り外し

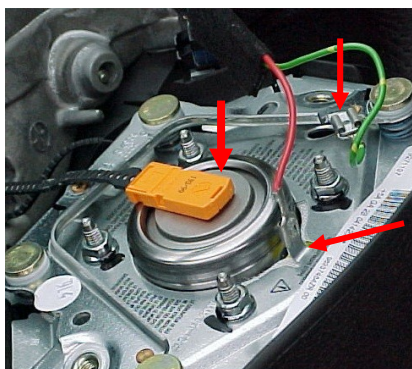
バッテリーの+端子を外して下さい。（作業が完全に終わるまで絶対に端子を接続しないで下さい。）

3、純正ステアリングの取り外し



純正ステアリングホイールの裏側2ヶ所の穴からトルクスレンチ（T30）を使用してボルトを緩めて下さい。

4、SRSユニットの取り外し

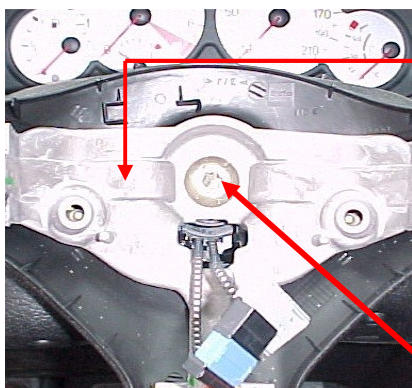


SRS本体モジュールを外し、裏側のSRSソケットとホーン用配線2ヶ所を外して下さい。(106/306/Saxoにはホーン用配線はありません)

オーディオリモコン装着車はリモコン線の端子も外して下さい。

取り外したSRS本体には絶対に電気を流さないで下さい。
(テスター等も含む)

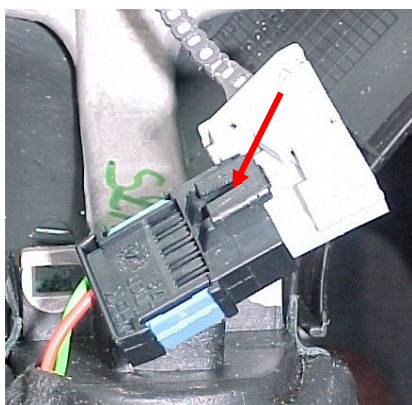
5、ステアリングの取り外し



106/306/Saxo はここから配線が出ている

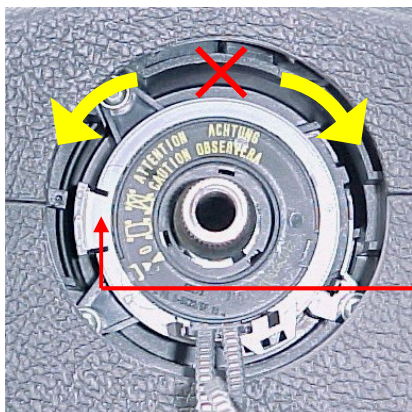
センターボルトをトルクス T50 で緩めて下さい。

6、ホーン用カプラーの取り外し (106/306/Saxoにはありません。)



車体側から出ているホーン用カプラーを外して下さい。
(これを外さないで純正ステアリングの穴からハーネスが抜けません。)

7、注意事項



106/306/Saxo はここから配線が出ている

車体側スパイラルは絶対に回さないで下さい。

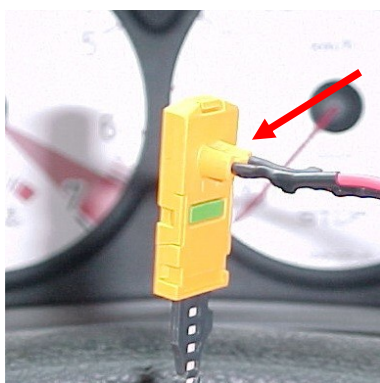
(左右の回転数が決まっています)

8、ボスの取り付け



SRS ハーネスとホーンハーネスをボスの穴から通し、トップマークを上にしてボスを装着して、NO.6 で外したカプラーを差込み (206/406 のみ) センターボルトを軽く締めて下さい。

9、SRS モニターランプ対策



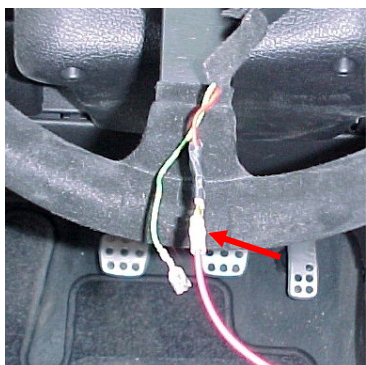
付属のジャンパー線をSRSコネクタの2ヶ所の穴に挿入してビニールテープ等で外れない様に固定して下さい。ジャンパー線には極性はありません。(この線を使用しない又は接触不良ですと取り付け終了後、イグニッションキーを入れた時、モニターランプが消えません、消灯させる為にはディーラーの診断コンピューターが必要になります。)

10、センターナット締め付け

ステアリングをボスに取り付け、センターボルトをトルクレンチを使用して規定トルクで締めて下さい。

(規定トルクは 30N・mです、強すぎますとボスのスプライン又はシャフトのスプラインを破損します。)

11、配線の接続（206のみ）



車体側から出ているホーン線の内、**赤い線**に付属の端子変換ハーネスを差し込みビニールテープで絶縁して下さい。

12、ホーンキャップ取り付け（106／306／Saxo は配線する必要はありません）



車体側から出ているホーン線（**緑色**）と変換ハーネスを取り付けた線をホーンキャップの2つの端子に差し込んで下さい。（写真は別の車種です）1極のホーンボタンは15へ

13、最終確認

バッテリー端子を接続して、ウインカー、ホーンのテストをし、エンジンをかけてSRSモニターランプが消灯するのを確認して下さい。

（ホーン/ウインカー/直進状態等に異常がある場合はバッテリー端子を外してから修正作業をして下さい）

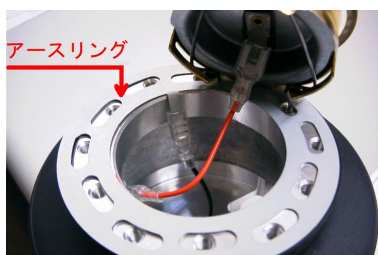
14、1極ホーンボタン御使用の場合

モモサイズの場合



アースリングにホーンリングを用い、アースリング付属線とアース線（**緑**）を接続し、ホーンボタンに**赤**線を接続して下さい。

ナルディサイズの場合



アースリングと配線のみご使用下さい。尚、ナルディサイズのホーンボタンは、ボスに挿入する際、スプリングをマイナスドライバー等で抑えながら挿入してください。プラスチック製の物は、多少削れながら挿入されます。

16、備考

取り外したSRSモジュールは純正ステアリングに取り付けた状態でSRS本体を上に向け保管して下さい。(保管方法はディーラーにご相談下さい)

トラブルシューティング

Q：SRSモニターランプが点灯する(消灯しない)

A：作業中イグニッションキーを入れた、ジャンパー線を装着していない、ジャンパー線の接続不良、等、

対策：ジャンパー線の接続を確認後、ディーラーの診断コンピューターで消灯して下さい。

(ジャンパー線が接続されていなかったり、接続不良だと消えません)

注：SRS警告灯の消灯を100%保証しているわけではありません。車両の電気的な特性の個体差で、消灯できないもしくは時間が経ってから点灯してしまう場合が稀にあります。ご了承ください。

Q：ステアリングのTOPが出ない

A：シャフトスプラインの1山以内のズレはタイロッドで調整します。

対策：ディーラー又は整備工場で調整して下さい。

Q：ステアリングを切ると異音がする

A：ボス内のSRSコネクターが干渉している

対策：動いているカプラー等をテープ又はタイラップ等で固定して下さい